

## つきたい力

- 情報収集・発信力の向上
- 読書習慣の定着

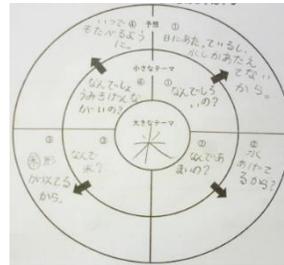
## 取組みの概要・ポイント

- 情報を本から獲得し、必要な情報を精選し、それらをまとめて発信するための調べ学習。
- 活字に慣れ親しむ機会を増やすための学校図書館の整備、情報発信、委員会活動とのコラボ企画の実施。

## 具体的な取組みの内容

### ①授業における学校図書館活用

**○調べ学習ワークシートのブラッシュアップ**  
調べ学習において、「自分の問いをもつ」ことから始めることで、意欲向上を図った。学年に応じてワークシートの形式を変え、学習内容や児童の実態に合わせてブラッシュアップを続けた。



テーマを中心に置き、それに対する  
疑問と答えの予想を立てるワークシート

### ○学校司書、町立図書館との連携

毎時間の読み聞かせの選書や授業で扱う本の選書と用意、学校図書館の環境整備で学校司書と連携している。

町立図書館とは、読み聞かせの選書や、学習内容と合った本のセット貸し出しなどで連携し、学校図書館にはない多様な本とふれ、活用できる環境づくりに取り組んだ。



### ○読書習慣の定着に向けて

国語やホームルームの時間などに毎日物語の本を少しずつ読み聞かせする活動や、週に1回の図書の時間には、借りた本の記録をつけ、1年生から振り返りができるようにしている。



### ②情報基地としての学校図書館整備

#### ○調べ学習コーナーの設置

辞典や図鑑をそろえた本棚と机を用意し、調べ学習を行いやすい環境を作っている。



#### ○学級文庫ラックの活用

ブックトラックを用意し、上段には自分達で選んだ学級文庫を置き、下段には学習内容と関連した本を置いている。教室でも様々な本を読めるようにし、授業中には調べ学習などで活用する本がすぐに使えるようにしている。



### ③コミュニケーションエリアとしての学校図書館整備

#### ○メイカースペースの設置

折り紙や工作、切り絵の本と、使ってよい折り紙のコーナーを作り、実際に本を見ながら興味のあるものを作ることができるスペースを設置している。本を通じてコミュニケーションの場となることも意図している。



#### ○図書委員会のコラボ企画

運動会の時期に実際の色分けに準じて借りた冊数のシールを貼る「読書リレー」や、入荷する本を全校児童の投票で決める「伝記総選挙」など、図書委員会で考案した企画を実施し、本と親しむ機会としている。



## 取組みを通しての子どもの変容

授業で調べたいことがあるときは、学校図書館で調べるとよいという児童の発言が増えている。(以下アンケート項目)

○「本を読むことが好き」・・・R5年度:82%→R6年度:88%

○「わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている」・・・R5年度:62%→R6年度:79%

取組み紹介動画リンク

